

市立川西病院 指定管理者候補の選定結果について

市立川西病院について、市立川西病院に係る指定管理者選定委員会の答申を踏まえ、指定管理者候補を下記のとおり選定しました。

指定管理者候補者の概要

- ・法人名 医療法人 協和会
- ・所在地 兵庫県川西市中央町16番5号
- ・代表者 理事長 北川 透
- ・職員数 3,040人(平成29年8月31日現在)
- ・施設数 6病院、4介護老人保健施設、5在宅事業部、1診療所、1複合型介護施設
- ・病床数 病院 1,984床、介護老人保健施設 566床

病 院		介護老人保健施設	
協立病院	313床	ウエルハウス川西	130床
第二協立病院	425床	ウエルハウス清和台	100床
協立温泉病院	465床	ウエルハウス西宮	200床
千里中央病院	400床	ウエルハウス協和	136床
協和会病院	301床		
協和マリナホスビタル	80床		
合計	1,984床	合計	566床

申請内容

指定管理者評価基準に基づき、応募法人から申請のあった主な内容を記載。

1. 基本的事項

(1) 理念

- ア 安全・安心で良質な医療を提供します。
- イ 常に新しいアイデアとチャレンジ精神を持って日々地道な努力をする人材を育成し、豊かな人間性と夢ある職場を作ります。

(2) 社会医療法人化について

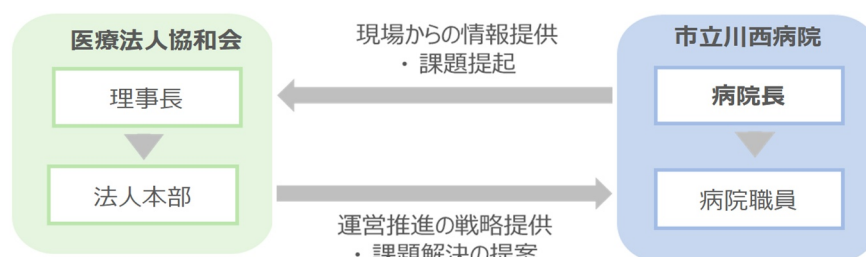
平成 35 年度までに社会医療法人の認定を目標とする。認定要件である救急医療に係る実績は協立病院にて確保。

2. 病院経営

(1) 経営戦略及び組織

経営改善を実現するためには、現在の市立川西病院を知り、職員と対話することが重要。現状把握や今後の戦略を現職員と協議を行うためにも、準備期間の1年間は非常に重要な時期と位置づけ。

組織運営イメージ



(2)人材

ア 指定管理導入に向けた引き継ぎについて

指定管理者内定後、ただちに現状把握・分析を行い、平成 30 年度当初から 5 名程度の職員を配置し、引き継ぎ実施を希望。

イ 職員不足が生じた場合の対応について

診療機能の向上を図る場合等に不足する人員については、常勤職員 2,761 名も含めて法人全体で対応。

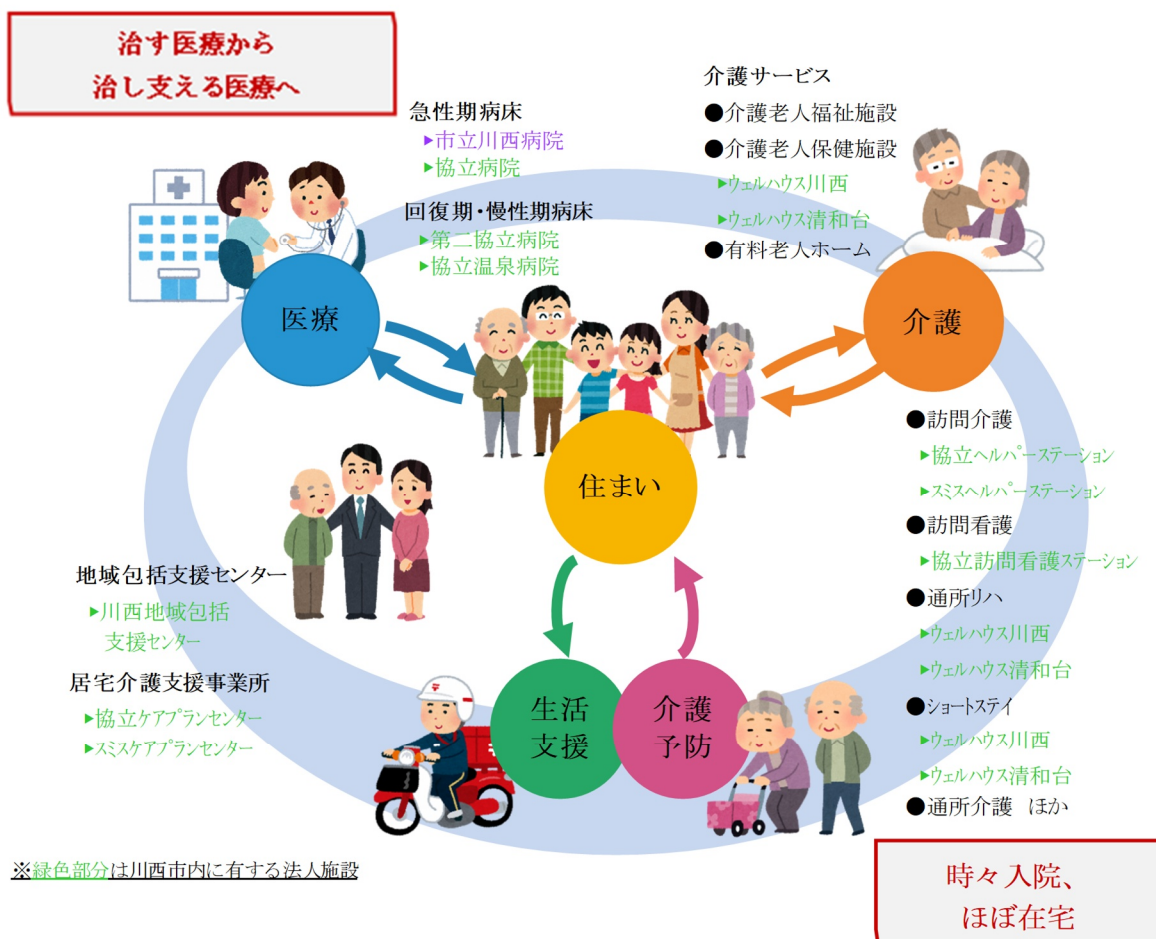
ウ 人材育成、福利厚生施設について

各職種を対象とした年間 52 回の研修や法人内他施設での研修などを実施。また、福利厚生施設として職員の子どもが優先利用できる保育所をキセラ川西エリアに新たに確保予定。

3. 実施する医療機能

(1) 地域包括ケアシステムの構築について

地域全体の医療資源・介護資源を有効に活用し、在宅医療・介護連携推進協議会や関係機関等と連携しながら、本市の特性に応じた体制構築を目指す。



(2) 現行の診療機能の充実について

新入院患者の増加、病床機能の見直し等を行うことで、現病院時点で病床稼働率を 90%まで引き上げることを目指す。

(3) 政策的医療について

救急医療について、他の医療圏域へ流出している救急患者を市立川西病院と協立病院の2施設で機能分担・連携して受け入れ、患者数と搬送件数の増加を目指す。

項目	市立川西病院	協立病院	2施設合計	目標値	増加数
救急搬送患者数	1,633人	3,615人	5,248人	5,426人	+178人
夜間等救急搬送件数	916件	2,475件	3,391件	3,506件	+115件

4. 財務

(1) 指定管理業務の収支計画について

<別紙 収支計画(本事業分) 参照>

ア 現病院では、下記の収益改善や経費節減の取り組みを行うものの、毎年3～4億円の赤字となるが、法人の既存事業による黒字分で補填。また、新病院では開院2年目には黒字化とし、開院4年目以降は毎年約2.5億円の黒字。

イ 新病院における入院診療単価(57,000円/日)や外来診療単価(13,500円/日)は周辺の同規模病院(300床以上)の平均値で設定し、各種経費等についても市立川西病院の実績や法人の実績、同規模病院と同程度で設定。

(2) 現病院での収益改善・経費節減に向けた取り組みについて

ア 収益改善 病床稼働率の向上と患者数の増加。

イ 経費節減 法人のノウハウやスケールメリットを活かし、以下の経費節減を実施。

項目	取組内容	法人実績	収支計画への反映
医薬品費	法人内でのジェネリック使用品の統合	33,500千円/年 (前年度比 3%)	3%
検査委託費	法人内での検査外注委託先の統合	48,500千円/年 (前年度比 47%)	40%
給食材料費	法人内での経管栄養剤の一本化	18,000千円/年 (年間購入額 20%)	
保守費	保守形態の見直し スポット保守への切り替え		

(3) 法人全体の収支計画について

<別紙 収支計画(法人既存事業分) 参照>

現病院の期間中は、毎年3～4億円の赤字を法人の既存事業による黒字分で補填するため、資金残高の増減はなし。新病院では開院2年目に黒字化とし、開院4年目以降は資金残高が毎年約3億円増加。

5. 新病院についての考え方

(1) 体制整備と人材確保について

新病院の職種別配置想定人員は、同規模同機能病院の平均値を参考とした配置予定となっており、不足人員については法人全体でも調整を行う。

職種	新センター 配置想定人員	市立川西病院	協立病院	増員数	法人内 余力人員
医師(研修医含)	80人	29人	37人	14人	42.1人
看護師等	410人	196人	211人	3人	460人
薬剤師	28人	8人	20人	0人	45人
栄養士	12人	1人	6人	5人	26人
放射線技師	24人	11人	13人	0人	18人
臨床検査技師	28人	12人	16人	0人	23人
理学療法士	44人	4人	12人	7人	205人
作業療法士		1人	0人		92人
言語聴覚士		1人	3人		47人
視能訓練士		1人	5人		0人
臨床工学技士		2人	8人		28人
事務部門	54人	11人	43人	0人	170人
その他	100人	41人	59人	0人	626人
計	780人	318人	433人	29人	1,782.1人

(2) 収益増加に向けた取り組みについて

- ア 新病院にて追加される救命救急センターや循環器センター、オンコロジーセンターなどの機能をしっかりと果たすことで、現在是对応できず市外へ流出している高度急性期・急性期の患者を受け入れることにより、入院患者の増加を図り、開院4年目時点で病床稼働率 90% を目標。
- イ 入院診療単価を開院4年目で 57,000 円/日(周辺の同規模病院の平均値)とする目標に掲げ、以下の取り組みを実施。
 - (ア) 急性期医療へ特化するため、重症度や看護必要度の低い患者は地域の回復期・慢性期病院や介護施設と連携し、受入体制を構築。
 - (イ) 入退院センター(PFM)導入による早期退院を推進し、平均在院日数を短縮。

6. 法人の実績

(1) 病院運営実績について

現在の市立川西病院に類似した機能の実績は協立病院で有している。協立病院を含め6病院(1,984 床)の運営実績。

(2) 政策的医療の実績

領域	臨床指標	市立川西病院	医療法人協和会	施設名、備考
救急医療	救急搬送患者数	1,633 人	4,079 人	協立 3,615.6件、協和会 463件
	夜間等救急搬送件数	916 件	2,684 件	協立 2,475.3件、協和会 208.3件
	時間外等加算割合	19 %	27 %	協立病院実績(協和会病院7.1%)
小児医療	小児科入院延患者数	2,137 人	184 人	第二協立病院
	6歳未満の乳幼児の時間外等加算割合	2 %	- %	-
	小児科医師数(常勤換算数)	3.2 人	2.4 人	第二協立病院
周産期医療	分娩実施件数	160 件	156 件	第二協立病院
	母体搬送件数	0 件	3.3 件	第二協立病院
	産婦人科医師数(常勤換算数)	1.8 人	2.4 人	第二協立病院
	助産師数(常勤換算数)	16.7 人	11.4 人	第二協立病院

(3) 法人の経営状況について

ア 事業利益及び経常利益

(単位:百万円)

項目	H26	H27	H28
事業利益	936	972	1,054
経常利益	770	660	756

イ 貸借対照表(平成29年3月31日現在)

(単位:百万円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	6,308	流動負債	6,452
固定資産	17,817	固定負債	12,572
		負債合計	19,024
		純資産の部	
		科目	金額
		資本金	30
		利益剰余金	5,071
		純資産合計	5,101
資産合計	24,125	負債・純資産合計	24,125